

## 第5回

# 国際コンファレンス「多文化主義と社会的正義」

2009年3月22日・23日

立命館大学, 京都衣笠キャンパス創思館1階カンファレンス・ルーム

- 主催：立命館大学大学院先端総合学術研究科 ポール・デュムシエル&後藤玲子
- 共催：立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点

### スケジュール

#### Sunday, March 22, 2009.

- 09:30 – 09:45 西成彦 (立命館大学先端総合学術研究科長) 「歓迎の挨拶」
- 09:45 – 10:30 ジェレミー・イーズ (立命館大学APU教授) 「グローバル化・資源保障・国家の危機の到来」
- 10:30 – 11:15 李蕉 (精華大学) 「新儒教の伝統における社会的正義—張載の事例」
- 11:15 – 12:00 後藤玲子 (立命館大学教授) 「ローカル正義・グローバル正義・世代間正義—『無条件の歓待』の条件」
- Lunch 12:00 – 13:30
- 13:30 – 16:20 パネル：文化と価値システムの翻訳
- 13:30 – 14:20 佐藤=ロスベアグ・ナナ (立命館大学ポストドクトラルフェロー, ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ) 「民族誌におけるアイヌ表象と翻訳— プロニスワフ・ピウスツキの作品から」
- 14:20 – 15:10 レイチェル・ラング (嶺南大学, 香港, 助教授) 「中国唐の時代における粟特の翻訳家たち—忠誠心という問題」
- Coffee break: 15:10 – 15:30
- 15:30 – 16:20 ヒロコ・コッカーリル (シドニー大学講師) 「二葉亭四迷の翻訳における純粋言語としての「た」形」
- 16:20 – 17:30 General Discussion

#### Monday, March 23, 2009

- 09:45 – 10:30 永田貴聖 (日本学術振興会特別研究員PD, 京都大学) 「フィリピンと日本との間の新しい移住ネットワークの形成」
- 10:30 – 11:15 番匠健一・岩間優希・佐藤量・原佑介 (立命館大学院生) 「多文化共生と移民労働—安山市と川崎市の現地調査より」
- 11:15 – 12:00 リリアン・テルミ・ハタノ (甲南女子大学教授) 「在日ブラジル人の名前に何が起きているのか—日本における民族名の古くて新しい問題」
- Lunch: 12:00 – 13:30
- 13:30 – 14:15 牛革平 (立命館大学院生) 「早期グローバル化における国家概念再考—タゴールと孫文」
- 14:15 – 15:00 ノア・マコーミック (京都産業大学教授) 「マーボ判決後のアボリジナル正義に関する合意—オーストラリアにおける多文化政治の変化と継続」
- Coffee break: 15:00 – 15:15
- 15:15 – 16:00 大野藍梨 (立命館大学院生) 「植民地期奴隷制への抵抗と現在における『新奴隷』」
- 16:00 – 16:45 ポール・デュムシエル (立命館大学教授) 「国境と境界—グローバル化時代における正義と排除」
- 16:45 – 17:30 General Discussion

#### お問い合わせ先

立命館大学独立研究科事務室 (担当：遠州)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 Tel: 075-465-8348 Fax: 075-465-8364 E-mail: sentan01@st.ritsumei.ac.jp

事前申し込み不要・入場無料